

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

大腿骨頸部骨折患者の術前 CT を用いた健側股関節周囲筋の評価

1. 研究の対象

2018年1月1日から2022年6月30日までの間に、東海大学医学部附属八王子病院の整形外科で大腿骨頸部骨折に対して人工骨頭置換術を受けられた70歳以上の方です。

2. 研究実施期間

機関の長の許可日 から 2025年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：大腿骨近部骨折患者における受傷前の骨格筋量減少は、術後日常生活動作(ADL)低下の要因とされていますが、術前の股関節周囲筋がどのように歩行機能に影響を及ぼすのかははっきりしていません。そこで、術前 CT を用いた健側の股関節周囲筋を定量的に評価検討することを目的としています。

方法：大腿骨頸部骨折に対して人工骨頭置換術を施行した患者のうち術後6か月以上経過観察可能であった70歳以上の患者さん75例を対象として診療録を用いて後ろ向きに調査します。術後6か月時に歩行自立されている自立群54例と、歩行不能である歩行不能群21例に分類し比較検討を行います。評価項目は、術前 CT を用いて健側の股関節周囲筋である中殿筋、大殿筋、大腿直筋の CT 値と筋断面積を計測します。この研究に使用する情報

として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：診断名、手術時年齢、歩行状況、単純CT結果(筋断面積、CT値)。
- ・試料：該当しません。

5. 情報の提供先・提供方法

この研究は、該当しません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5094）

研究責任者 整形外科 横山 勝也

問い合わせ担当者 整形外科 横山 勝也